

原発から撤退し、再生可能エネルギーへの転換と

放射能汚染から子どもの健康と命を守る対策を求める請願書

請願代表者

新日本婦人の会江南支部

支部長 荒木 桂子

江南市北山町東149

紹介議員

3月11日に発生した東日本大震災によって、福島第1原子力発電所が重大な事故を起こしてから6カ月がたちます。

しかし事態はいまだ収束の目途が見えないばかりか、いまま放射性物質の放出が続き大気や土壌、海水、農産物や水産物などへの汚染の拡大は深刻さを増し、健康への影響が心配されます。

福島原発事故が明らかにしたのは、現在の原発技術は本質的に未完成で、放射性物質が外部に放出されると、それを押さえる手段は存在せず、地域社会の存続さえも危うくし、使用済み核燃料の処理する方法も見つけ出されていないことです。

こうした危険性を持つ原発を、世界有数の地震国であり津波国である日本に、集中立地しているのは危険極まりないことであり、安全神話が崩れ去った今、この重大事故を教訓として、原発からの速やかな撤退を決断することが求められます。

とりわけ東海地震の震源域に立地する浜岡原発を廃炉とすることは、東海地震の区域に居住する私たちにとって緊急の課題です。

今こそ、政府が原発に代わる太陽光や風力、水力、バイオマスなど再生可能エネルギーへの転換を決断し、実行するプランを策定し、推進することを強く求めるものです。政府に対し意見書を提出していただくようお願いいたします。

また子どもの健康と命を守り、市民の不安を解消する対策を講じていただくよう以下について請願します。

〔請願事項〕

1. 政府に対し、原発からの撤退と再生可能エネルギーへの転換、浜岡原発の廃炉を求める意見書を提出してください。
2. 放射能汚染から子どもの健康と命を守り、市民の不安解消のために、江南市としても独自に系統的な調査を実施し、情報を市民に公表してください。